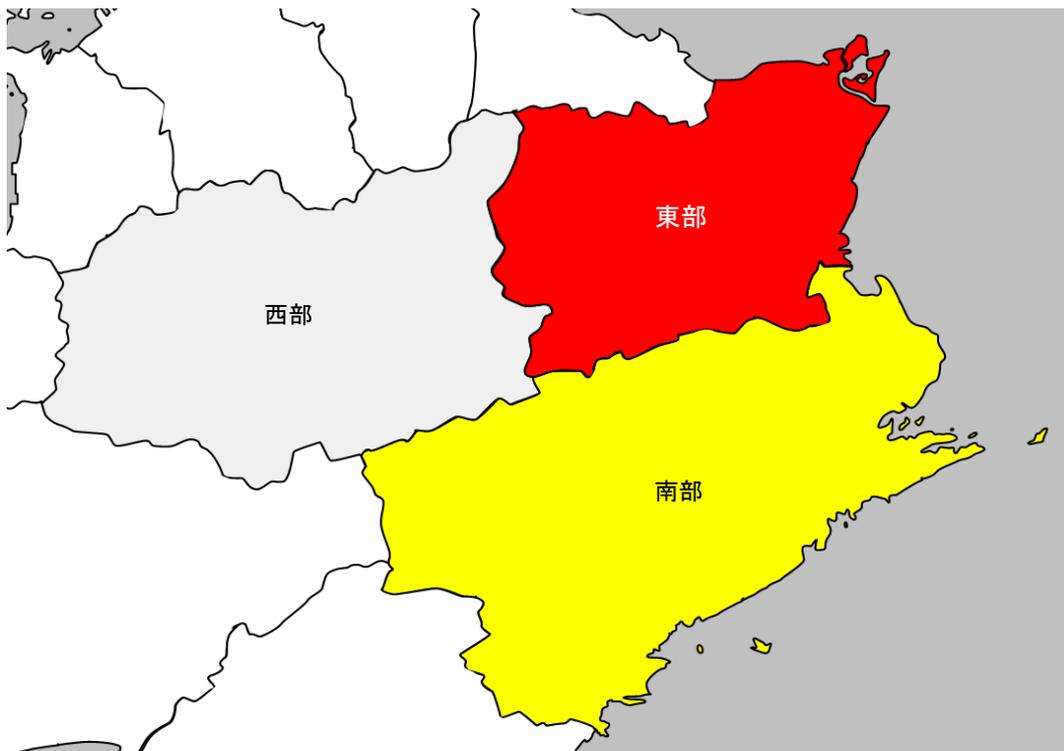


36. 徳島県

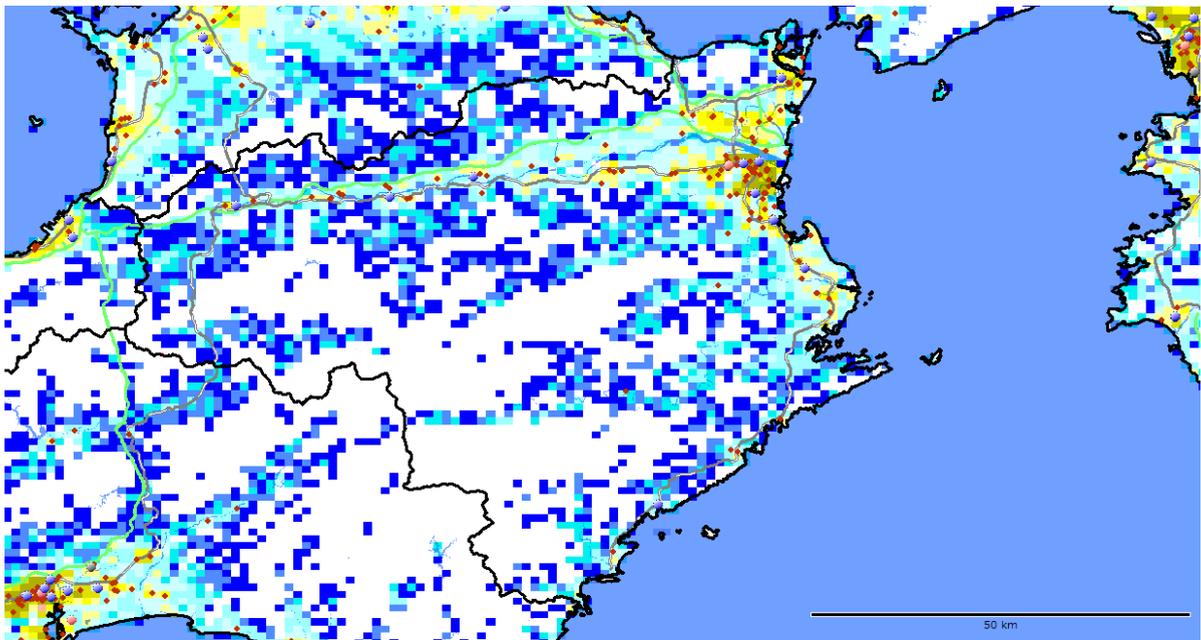


目次

徳島県	36	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	36	-	8
1. 東部医療圏	36	-	20
2. 南部医療圏	36	-	25
3. 西部医療圏	36	-	30

36. 徳島県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（徳島県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 徳島県は、総人口約756千人(2015年推計)、面積4147km²、人口密度は182人/km²である。

***人口の将来予測：** 徳島県の総人口は2025年に686千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に571千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の123千人が、2025年にかけて146千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には143千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 徳島県の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値62)、介護給付費は300千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 徳島県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.27で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が58(病院医師数58、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値66と非常に多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 徳島県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11652人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が7528床(偏差値51)、高齢者住宅等が4124床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9044人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム38、軽費ホーム45、グループホーム59、サ高住53である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1876人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

徳島県の総人口は、2005年809950人が、2015年に755619人と7%減少し、2025年の人口が686332人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

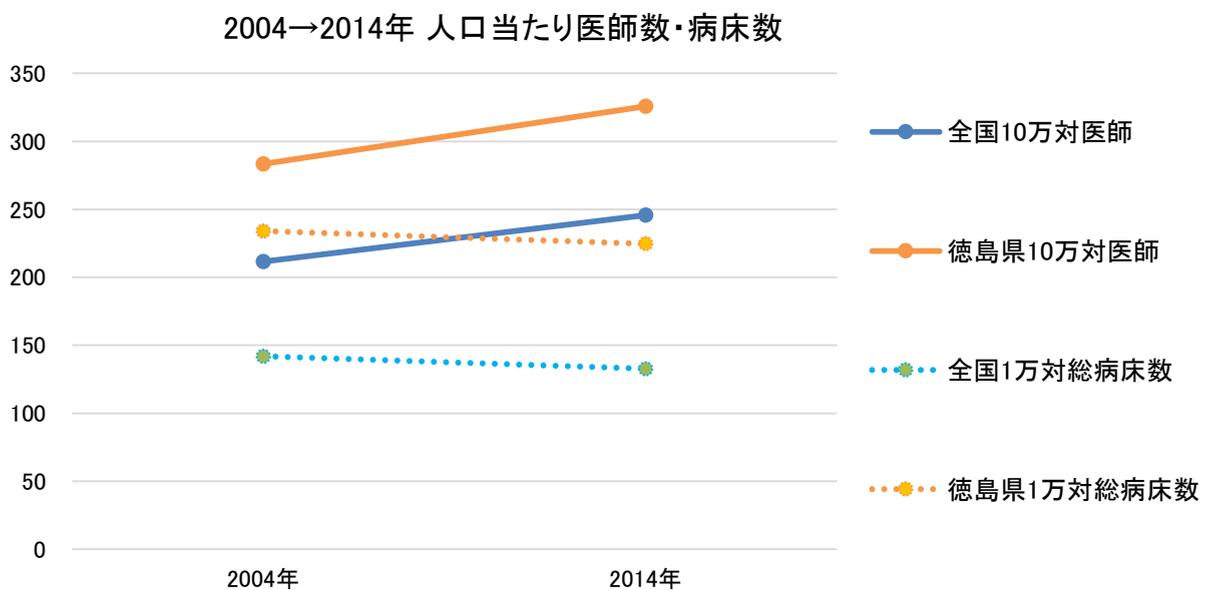
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が123(人口10万人当たり15.2病院(全国平均7.1)偏差値71)であったが、2014年に113(人口10万人当たり15病院(全国平均6.7)偏差値70)となり、10年間で10病院が減少した。

2004年の診療所数が791(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に743(人口10万人当たり98診療所(全国平均79)偏差値60)と、48診療所が減少した。

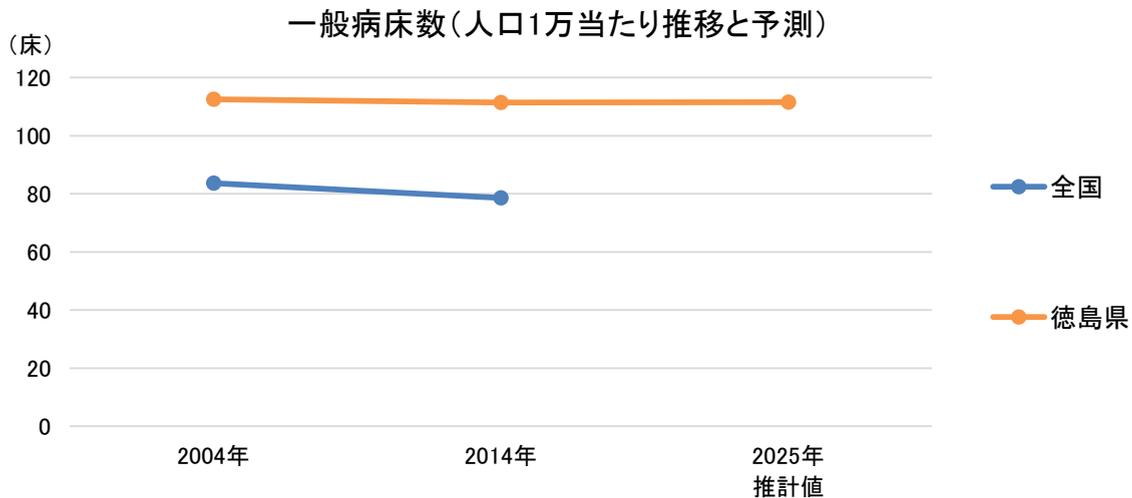
2004年の総病床数が18952床(人口1万人当たり234(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に16982床(人口1万人当たり225(全国平均133)偏差値66)と、1970床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2296人(人口10万人当たり283人(全国平均212人)偏差値59)であったが、2014年に2463人(人口10万人当たり326人(全国平均246人)偏差値58)と、167人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



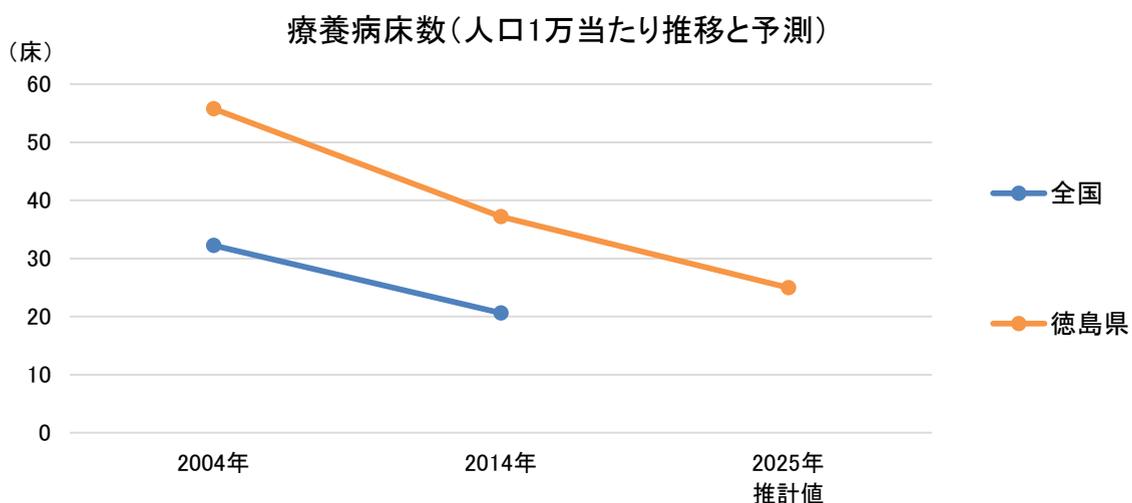
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が9115床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に8419床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、696床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7653床(2025年の推計人口1万人当たり112)になることが予想される。



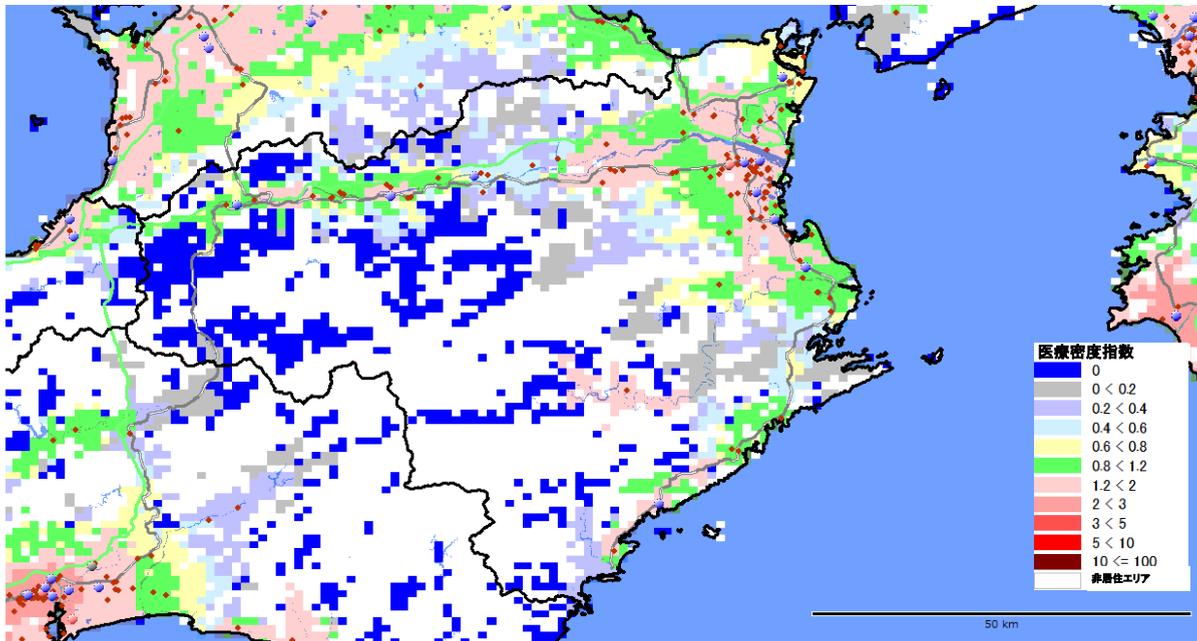
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5441床(75歳以上1000人当たり56(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に4587床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、854床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3648床(2025年の推計75歳以上1000人当たり25)になることが予想される。

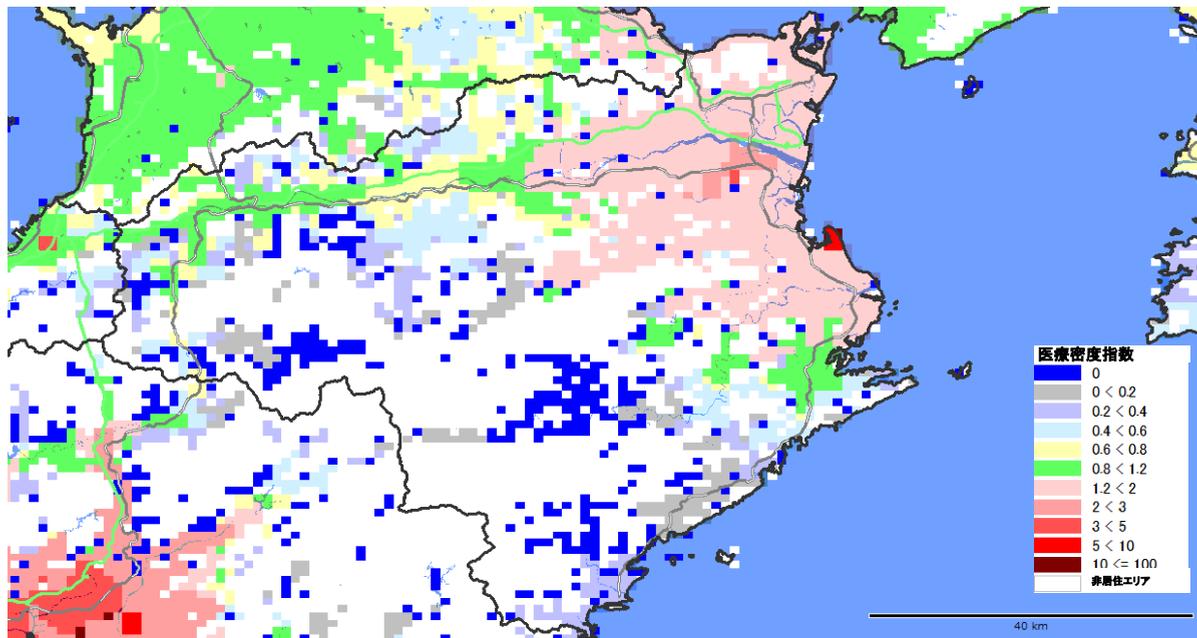


3. 医療密度⁵

図表36-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-2 慢性期医療密度指数マップ



36. 徳島県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 36-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
徳島県	756	44位	4,147	36位	182.2		31%	686	571	123	146	143	-9%	-17%	19%	-2%
東部	527	70%	1,016	25%	518.5	地方都市型	29%	488	416	78	98	99	-7%	-15%	26%	1%
南部	148	20%	1,724	42%	86.0	過疎地域型	34%	131	106	27	31	28	-11%	-19%	15%	-10%
西部	80	11%	1,406	34%	57.2	過疎地域型	38%	67	49	18	17	16	-16%	-27%	-6%	-6%
出典	<人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資_図表 36-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
徳島県	1.12	2.27	-21.1%	-18.3%
東部	1.23	1.89	-10.4%	-12.0%
南部	0.92	2.06	1.0%	11.7%
西部	0.76	0.84	25.9%	32.2%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。			

資_図表 36-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
徳島県	368	62	1.097	300	62
東部	357	59	1.093	295	61
南部	375	64	1.084	300	62
西部	425	76	1.216	322	68
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 36-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	診療所数		
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)
徳島県	113	1.3%	15.0	70
東部	74	65%	14.0	68
南部	21	19%	14.2	68
西部	18	16%	22.4	88
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 36-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	無床 診療所数			有床 診療所数			
		県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	100,461		79	(19.5)		6.6	(6.6)	
徳島県	743	0.7%	98	60	131	1.6%	17.3	66
東部	543	73%	103	62	105	80%	19.9	70
南部	124	17%	84	52	10	8%	6.7	50
西部	76	10%	95	58	16	12%	19.9	70
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月							

36. 徳島県（2016年版）

資_図表 36-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
徳島県	14,845	0.9%	1,965	64	2,137	1.9%	283	68	16,982	1.0%	2,247	66
東部	10,484	71%	1,989	65	1,714	80%	325	72	12,198	72%	2,315	67
南部	2,390	16%	1,612	57	157	7%	106	52	2,547	15%	1,718	57
西部	1,971	13%	2,452	74	266	12%	331	73	2,237	13%	2,783	76
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 36-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
徳島県	6,502	0.7%	860	57	4,367	1.3%	578	65	3,916	1.2%	518	61
東部	4,284	66%	813	55	3,333	76%	632	68	2,829	72%	537	62
南部	1,573	24%	1,061	65	538	12%	363	55	271	7%	183	46
西部	645	10%	802	54	496	11%	617	67	816	21%	1,015	84
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 36-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
徳島県	776	1.1%	103	60	431	1.2%	57	55
東部	616	79%	117	63	264	61%	50	53
南部	132	17%	89	57	80	19%	54	54
西部	28	4%	35	46	87	20%	108	65
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局（関東信越厚生局のみ7月公表分）。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 36-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
徳島県	4,819	4,364	0	10,072	2,116	4,385	67.3%	56	0.0%	46
東部	3,196	2,763	0	7,322	1,499	3,339	64.8%	55	0.0%	46
南部	1,223	1,215	0	1,167	358	538	77.2%	60	0.0%	46
西部	400	386	0	1,583	259	508	59.8%	53	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 36-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
徳島県	17,436	0.6%	2,308	51	6,204	0.6%	821	50
東部	12,576	72%	2,386	52	4,512	73%	856	52
南部	4,188	24%	2,825	56	1,188	19%	801	50
西部	672	4%	836	37	504	8%	627	44
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 36-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
徳島県	2,569	0.8%	340	58	1,650	0.8%	218	58	920	0.7%	122	56
東部	1,918	75%	364	60	1,215	74%	230	60	704	76%	134	59
南部	426	17%	287	52	297	18%	200	55	129	14%	87	45
西部	226	9%	281	51	138	8%	172	51	87	9%	108	52
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

36. 徳島県（2016年版）

資_図表 36-12 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
徳島県	150	1.0%	19.9	61	76	0.6%	10.1	50	71	0.7%	9.4	53
東部	117	78%	22.2	65	62	82%	11.8	54	56	79%	10.6	56
南部	23	15%	15.5	55	12	16%	8.1	46	9	13%	6.1	44
西部	10	7%	12.4	50	2	3%	2.5	34	6	8%	7.5	48
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 36-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
徳島県	36	0.7%	4.8	53	79	0.8%	10.5	59	58	0.8%	7.7	57
東部	31	86%	5.9	58	62	78%	11.8	64	49	84%	9.3	63
南部	5	14%	3.4	46	14	18%	9.4	56	8	14%	5.4	48
西部	0	0%	0	30	3	4%	3.7	39	1	2%	1.2	32
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 36-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
徳島県	59	0.7%	7.8	54	145	0.7%	19.2	54	121	0.8%	16.0	59
東部	50	85%	9.5	58	113	78%	21.4	57	94	78%	17.8	63
南部	4	7%	2.7	39	24	17%	16.2	50	19	16%	12.8	52
西部	5	8%	6.2	49	8	6%	10.0	41	8	7%	10.0	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 36-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
徳島県	51	0.9%	6.7	61	56	0.9%	7.4	60	49	0.9%	6.5	58
東部	43	84%	8.2	68	46	82%	8.7	66	40	82%	7.6	61
南部	5	10%	3.4	45	7	13%	4.7	49	7	14%	4.7	52
西部	3	6%	3.7	46	3	5%	3.7	45	2	4%	2.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 36-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
徳島県	54	0.8%	7.1	56	7	0.5%	0.9	47	25	0.8%	3.3	54
東部	41	76%	7.8	58	5	71%	0.9	47	16	64%	3.0	53
南部	7	13%	4.7	49	2	29%	1.3	51	5	20%	3.4	54
西部	6	11%	7.5	57	0	0%	0	37	4	16%	5.0	64
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 36-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
徳島県	21	1.1%	2.8	60	23	1.0%	3.0	59
東部	18	86%	3.4	65	20	87%	3.8	65
南部	3	14%	2.0	54	2	9%	1.3	46
西部	0	0%	0	37	1	4%	1.2	45
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

36. 徳島県（2016年版）

資_図表 36-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
徳島県	9,155	0.8%	1,212	62	7,675	0.8%	1,016	63	1,480	0.8%	196	55
東部	6,519	71%	1,237	63	5,369	70%	1,019	63	1,150	78%	218	58
南部	1,645	18%	1,110	58	1,461	19%	986	61	184	12%	124	46
西部	991	11%	1,233	63	845	11%	1,051	64	146	10%	182	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 36-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
徳島県	1,327	1.1%	176	66	2,598	0.9%	344	62
東部	998	75%	189	68	2,092	81%	397	67
南部	202	15%	136	58	342	13%	231	50
西部	127	10%	158	62	164	6%	204	48
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 36-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
徳島県	152	1.0%	1.2	57	28	2.5%	0.2	75	77	0.8%	0.6	52
東部	114	75%	1.5	63	18	64%	0.2	75	56	73%	0.7	58
南部	23	15%	0.8	49	5	18%	0.2	68	12	16%	0.4	42
西部	15	10%	0.8	48	5	18%	0.3	81	9	12%	0.5	45
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 36-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員 (病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
徳島県	11,652	0.7%	94	47	7,528	0.8%	61	51	4,124	0.6%	33	46
東部	7,639	66%	98	49	4,421	59%	57	48	3,218	78%	41	51
南部	2,135	18%	78	37	1,729	23%	63	53	406	10%	15	34
西部	1,878	16%	102	52	1,378	18%	75	62	500	12%	27	42
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 36-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
徳島県	3,590	1.0%	29	62	2,922	0.5%	24	40	1,016	1.5%	8.2	60
東部	2,342	65%	30	64	1,325	45%	17	33	754	74%	9.7	64
南部	614	17%	23	51	935	32%	34	51	180	18%	6.6	56
西部	634	18%	34	72	662	23%	36	52	82	8%	4.4	51
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
徳島県	195	0.1%	1.6	38	30	0.1%	0.2	45	2,058	1.1%	16.7	59
東部	177	91%	2.3	39	0	0%	0	43	1,383	67%	17.8	61
南部	0	0%	0	37	30	100%	1.1	49	306	15%	11.2	49
西部	18	9%	1.0	38	0	0%	0	43	369	18%	20.0	65
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

36. 徳島県（2016年版）

資_図表 36-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
徳島県	1,841	0.9%	14.9	53	0	0.0%	0	45	1,841	0.9%	14.9	54
東部	1,658	90%	21.4	63	0		0	45	1,658	90%	21.4	65
南部	70	4%	2.6	35	0		0	45	70	4%	2.6	35
西部	113	6%	6.1	40	0		0	45	113	6%	6.1	40
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 36-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
徳島県	1,522	0.9%	12.3	61	1,235	1.0%	10.0	63	287	0.7%	2.3	47
東部	1,003	66%	12.9	63	785	64%	10.1	63	217	76%	2.8	53
南部	263	17%	9.6	50	224	18%	8.2	55	38	13%	1.4	36
西部	256	17%	13.9	68	225	18%	12.2	73	31	11%	1.7	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
徳島県	10,921	0.7%	89	49	9,044	0.7%	73	47	1,876	0.8%	15.2	53
東部	6,827	63%	88	48	5,462	60%	70	45	1,366	73%	17.6	57
南部	2,350	22%	86	47	2,056	23%	75	49	294	16%	10.8	45
西部	1,744	16%	95	54	1,527	17%	83	55	217	12%	11.7	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
徳島県	7,787	0.7%	63	49	2,155	0.5%	17	43	12,641	0.8%	102	54
東部	5,827	75%	75	53	1,395	65%	18	43	9,499	75%	122	60
南部	1,373	18%	50	45	242	11%	9	35	1,685	13%	62	41
西部	587	8%	32	39	518	24%	28	53	1,457	12%	79	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 36-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
徳島県		809,950	755,619	-7%	686,332	-15%	6%	0%	5%
東部	地方都市型	549,240	526,991	-4%	488,496	-11%	9%	3%	12%
南部	過疎地域型	164,694	148,237	-10%	131,173	-20%	2%	-3%	-2%
西部	過疎地域型	96,016	80,391	-16%	66,663	-31%	-7%	-10%	-16%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,屋間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 36-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
徳島県	123	15.2	71	113	15.0	70	-10	-8%	102
東部	81	14.7	70	74	14.0	68	-7	-9%	66
南部	21	12.8	65	21	14.2	68	0	0%	21
西部	21	21.9	88	18	22.4	88	-3	-14%	15
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

36. 徳島県（2016年版）

資_図表 36-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
徳島県	791	98	61	743	98	60	-48	-6%	690
東部	554	101	62	543	103	62	-11	-2%	531
南部	143	87	55	124	84	52	-19	-13%	103
西部	94	98	61	76	95	58	-18	-19%	56
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 36-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
徳島県	2,296	283	59	2,463	326	58	167	7%	2,647
東部	1,708	311	62	1,902	361	62	194	11%	2,115
南部	392	238	53	390	263	52	-2	-1%	388
西部	196	204	49	171	213	47	-25	-13%	144
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 36-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
徳島県	18,952	234	66	16,982	225	66	-1,970	-10%	14,815
東部	13,320	243	68	12,198	231	67	-1,122	-8%	10,964
南部	2,933	178	56	2,547	172	57	-386	-13%	2,122
西部	2,699	281	75	2,237	278	76	-462	-17%	1,729
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 36-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
徳島県	9,115	113	60	8,419	111	62	-696	-8%	7,653	112
東部	6,056	110	59	5,870	111	62	-186	-3%	5,665	116
南部	1,999	121	63	1,672	113	63	-327	-16%	1,312	100
西部	1,060	110	59	877	109	61	-183	-17%	676	101
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 36-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
徳島県	5,441	56	63	4,587	37	64	-854	-16%	3,648	25
東部	4,101	70	71	3,461	45	71	-640	-16%	2,757	28
南部	618	28	47	596	22	51	-22	-4%	572	19
西部	722	44	56	530	29	57	-192	-27%	319	18
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

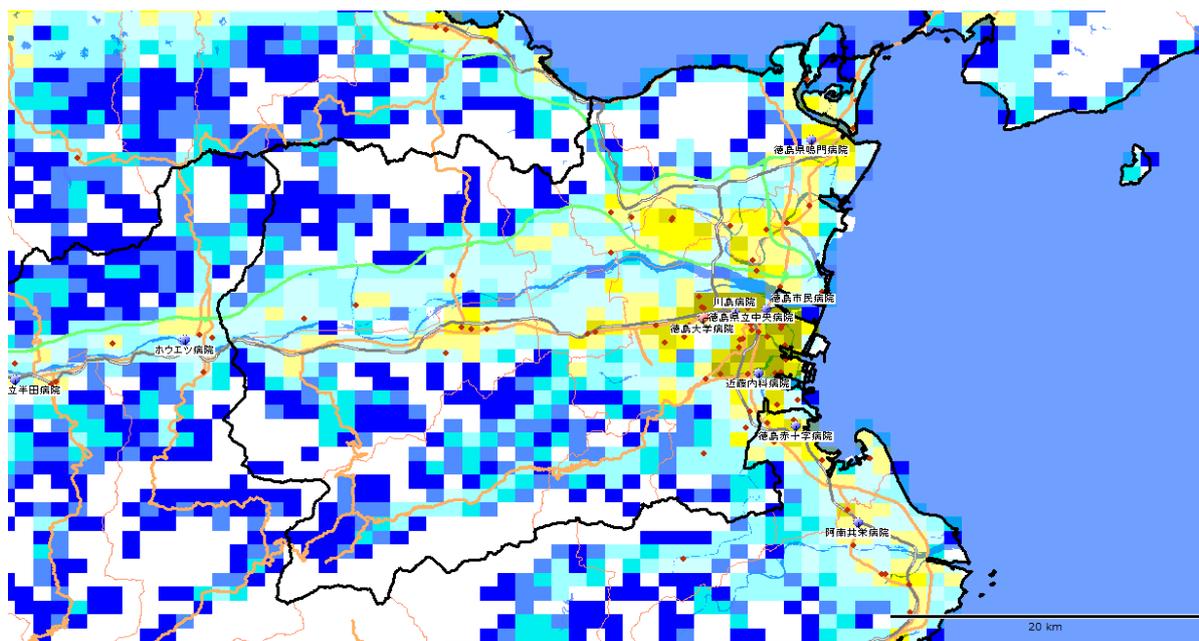
資_図表 36-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
徳島県	374	61	1.099	164	63	1.255	183	54	0.996
東部	363	58	1.083	155	60	1.196	183	53	1.007
南部	380	63	1.075	172	66	1.256	181	52	0.944
西部	429	74	1.202	212	80	1.532	193	59	1.003
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

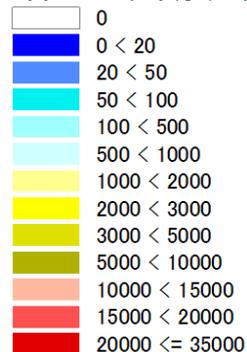
36-1. とうぶ 東部医療圏

構成市区町村¹⁰ 徳島市 鳴門市 吉野川市 阿波市
佐那河内村 石井町 神山町 松茂町
北島町 藍住町 板野町 上板町

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 東部(徳島市)は、総人口約527千人(2015年推計)、面積1016km²、人口密度は519人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 東部の総人口は2025年に488千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に416千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて98千人へと増加し(2015年比+26%)、2040年には99千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 東部の一人当たり医療費(国保)は357千円(偏差値59)、介護給付費は295千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 東部の一人当たり急性期医療密度指数²は1.23、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.89で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が60(病院医師数60、診療所医師数59)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島市民病院(Ⅲ群)、徳島県立中央病院(Ⅱ群・救命)、徳島大学病院(Ⅰ群)、500例以上の徳島県鳴門病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は68と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値63と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7639人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4421床(偏差値48)、高齢者住宅等が3218床(偏差値51)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5462人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム33、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム61、サ高住63である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値75と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、1366人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

東部医療圏の総人口は、2005年549240人が、2015年に526991人と4%減少し、2025年の人口が488496人と予測され、2005年→2025年の間に11%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

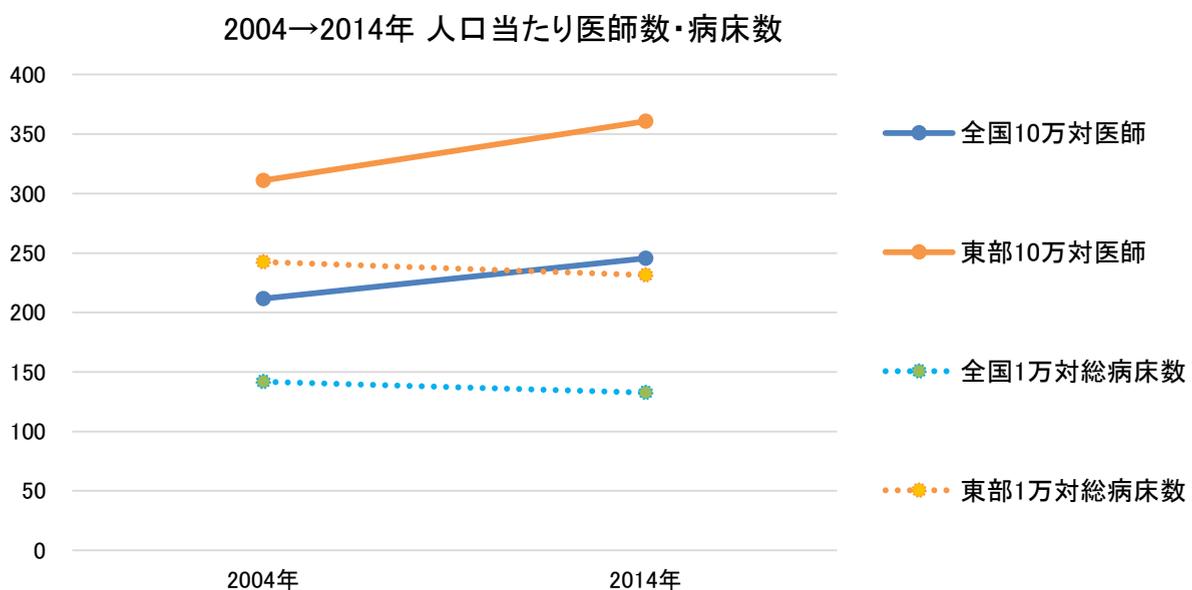
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が81(人口10万人当たり14.7病院(全国平均7.1)偏差値70)であったが、2014年に74(人口10万人当たり14病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が554(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に543(人口10万人当たり103診療所(全国平均79)偏差値62)と、11診療所が減少した。

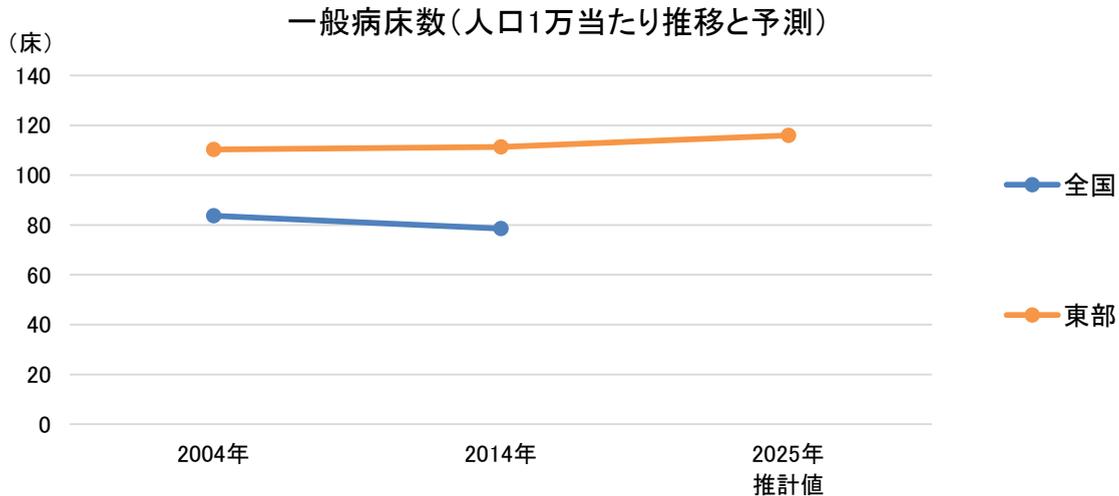
2004年の総病床数が13320床(人口1万人当たり243(全国平均142)偏差値68)であったが、2014年に12198床(人口1万人当たり231(全国平均133)偏差値67)と、1122床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1708人(人口10万人当たり311人(全国平均212人)偏差値62)であったが、2014年に1902人(人口10万人当たり361人(全国平均246人)偏差値62)と、194人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



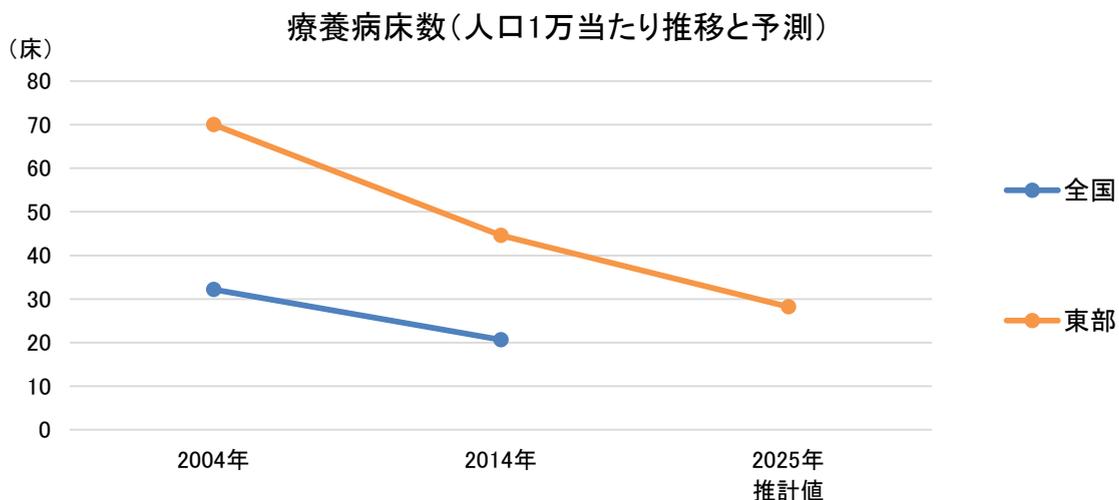
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6056床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に5870床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、186床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5665床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



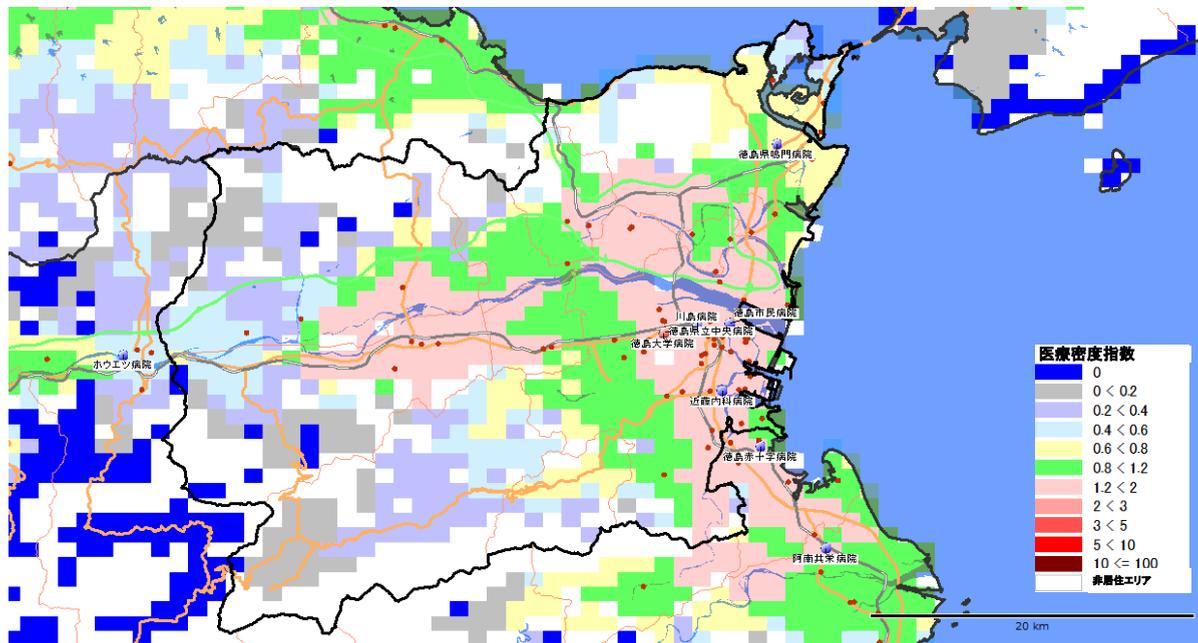
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4101床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に3461床(75歳以上1000人当たり45(全国平均21)偏差値71)と、640床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2757床(2025年の推計75歳以上1000人当たり28)になることが予想される。

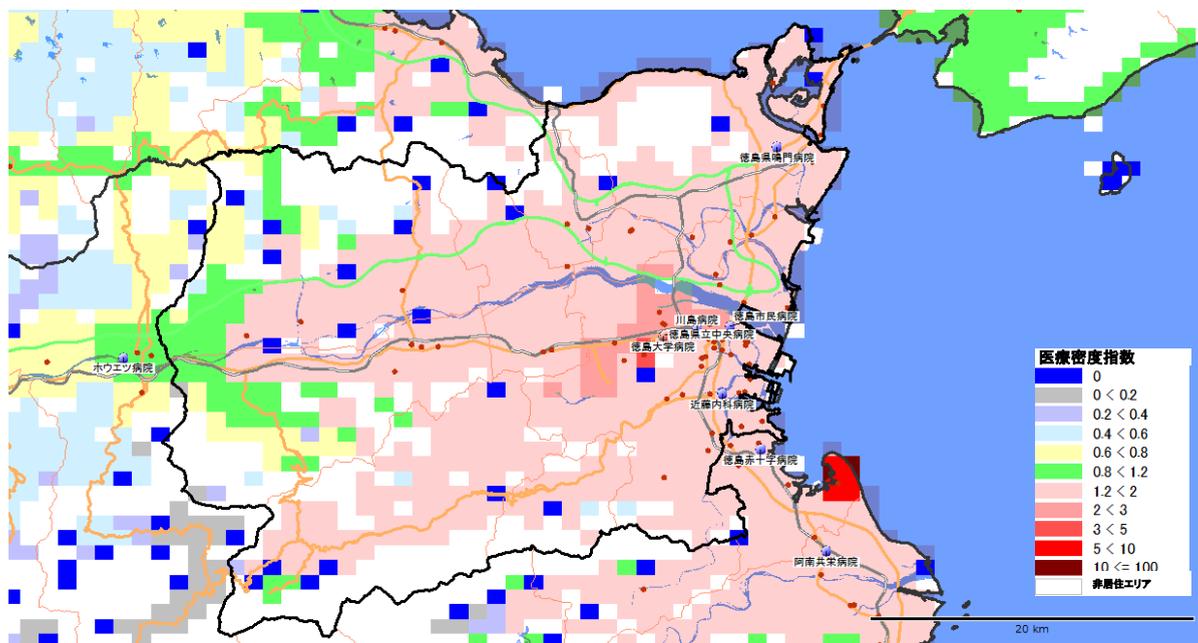


3. 医療密度⁵

図表36-1-1 急性期医療密度指数マップ



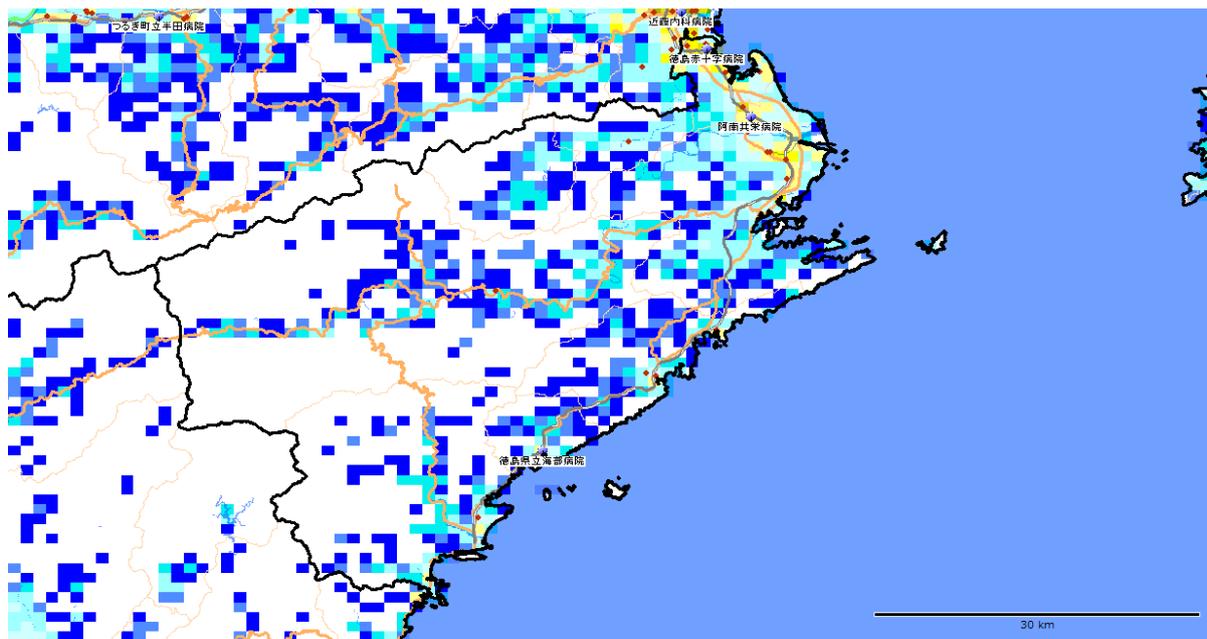
図表36-1-2 慢性期医療密度指数マップ



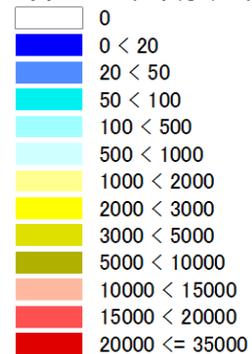
36-2. なんぶ南部医療圏

構成市区町村¹⁰ [小松島市](#) [阿南市](#) [勝浦町](#) [上勝町](#)
[那賀町](#) [牟岐町](#) [美波町](#) [海陽町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（南部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 南部(小松島市)は、総人口約148千人(2015年推計)、面積1724km²、人口密度は86人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 南部の総人口は2025年に131千人へと減少し(2015年比-11%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて31千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 南部の一人当たり医療費(国保)は375千円(偏差値64)、介護給付費は300千円(偏差値62)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 南部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.92、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.06で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が52(病院医師数55、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は58と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は65で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の徳島赤十字病院(Ⅱ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値57と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2135人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1729床(偏差値53)、高齢者住宅等が406床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2056人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設56、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム49、グループホーム49、サ高住35である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値68と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、294人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南部医療圏の総人口は、2005年164694人が、2015年に148237人と10%減少し、2025年の人口が131173人と予測され、2005年→2025年の間に20%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

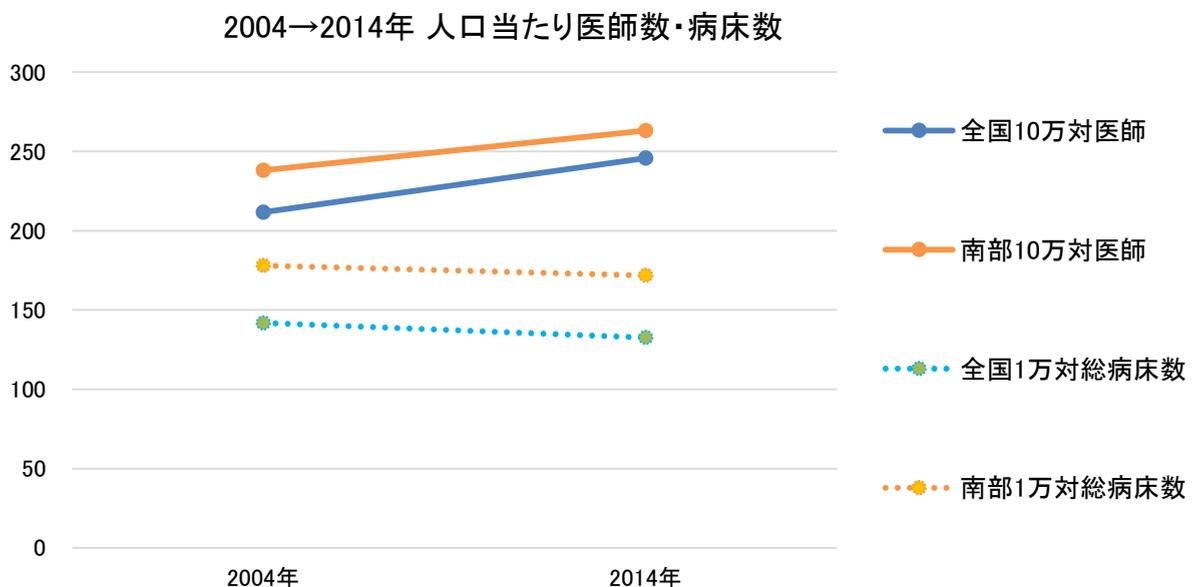
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり12.8病院(全国平均7.1)偏差値65)であったが、2014年に21(人口10万人当たり14.2病院(全国平均6.7)偏差値68)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が143(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に124(人口10万人当たり84診療所(全国平均79)偏差値52)と、19診療所が減少した。

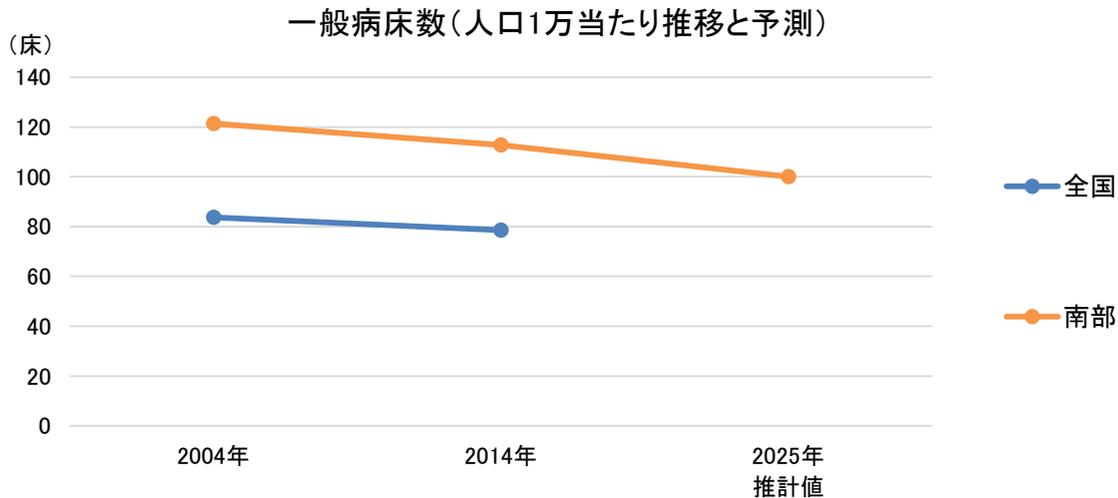
2004年の総病床数が2933床(人口1万人当たり178(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に2547床(人口1万人当たり172(全国平均133)偏差値57)と、386床の減少、率にして13%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が392人(人口10万人当たり238人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に390人(人口10万人当たり263人(全国平均246人)偏差値52)と、2人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



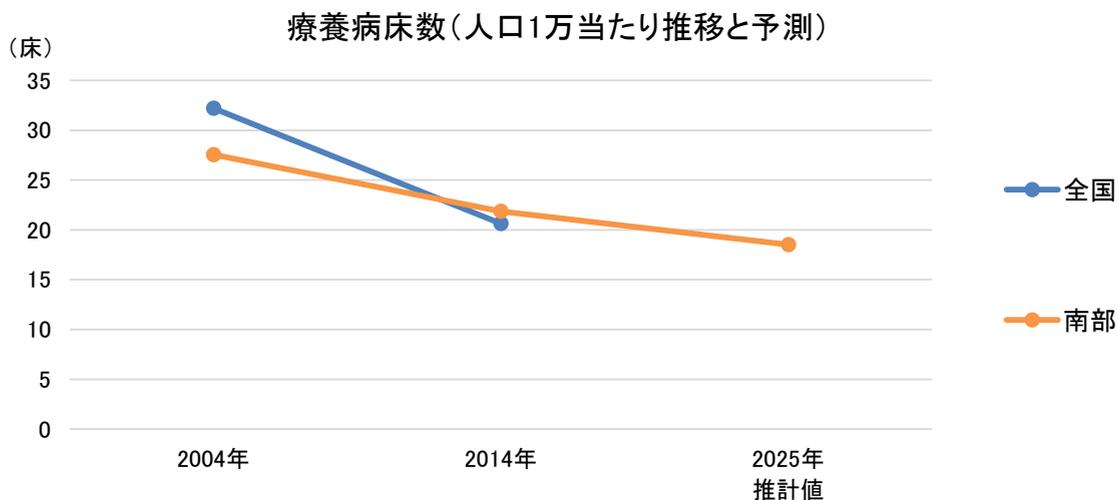
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1999床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2014年に1672床(人口1万人当たり113(全国平均79)偏差値63)と、327床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1312床(2025年の推計人口1万人当たり100)になることが予想される。



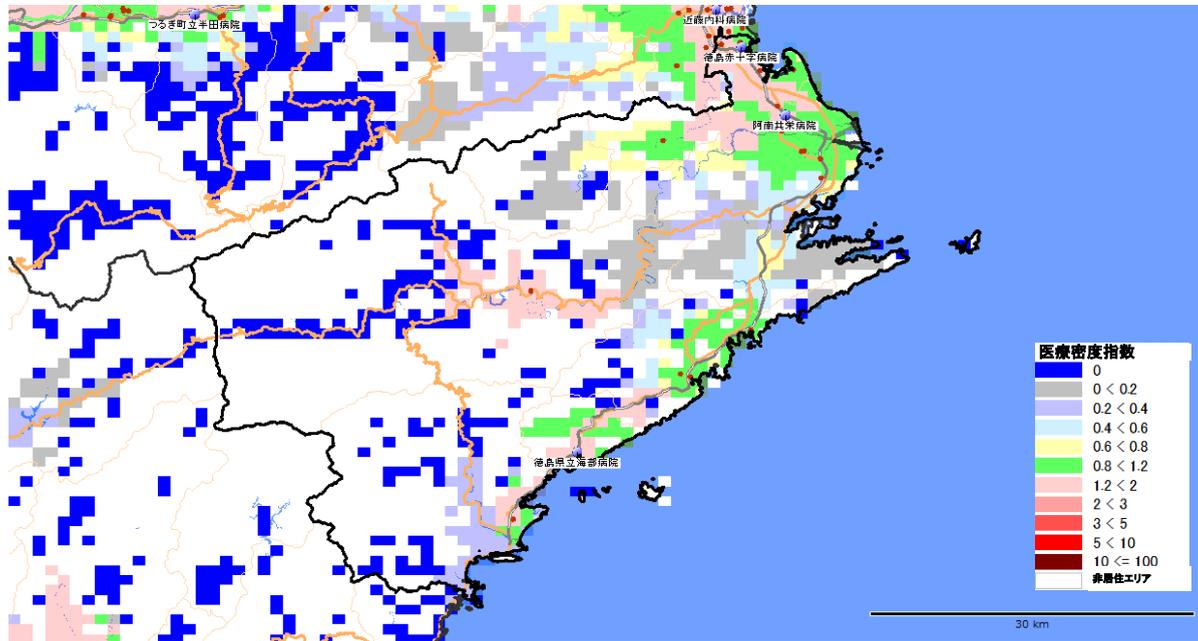
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が618床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に596床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、22床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には572床(2025年の推計75歳以上1000人当たり19)になることが予想される。

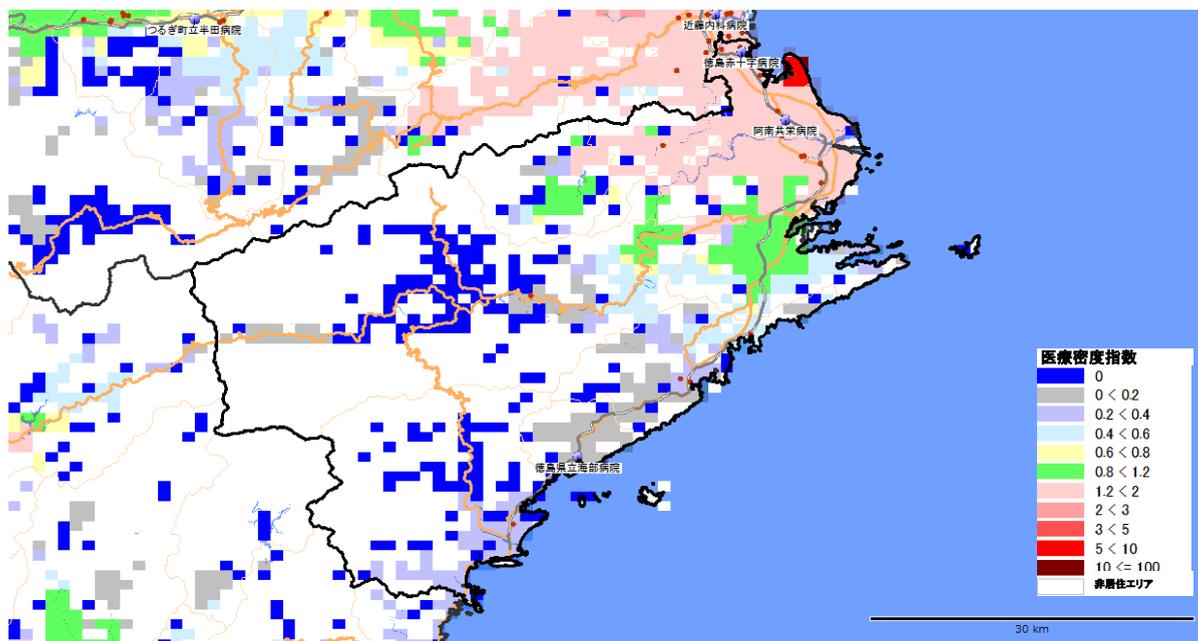


3. 医療密度⁵

図表36-2-1 急性期医療密度指数マップ



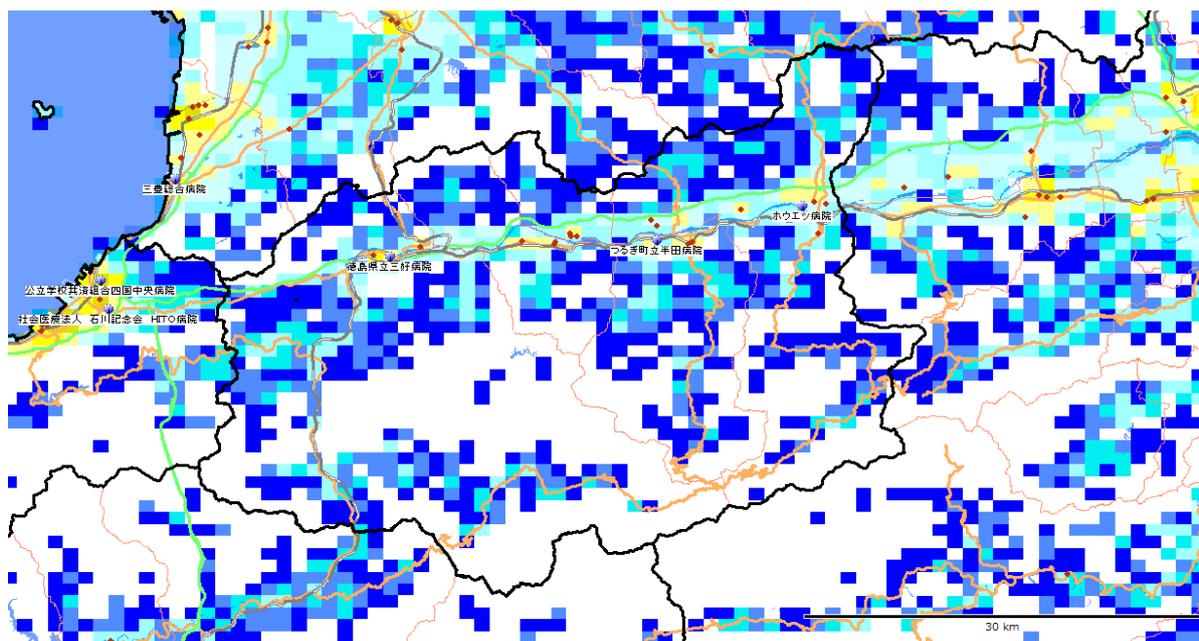
図表36-2-2 慢性期医療密度指数マップ



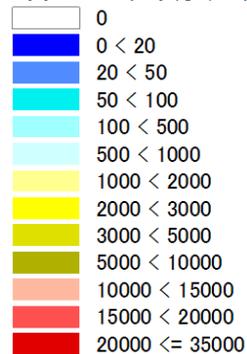
36-3. せいぶ西部医療圏

構成市区町村¹⁰ [美馬市](#) [三好市](#) [つるぎ町](#) [東みよし町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など：西部(美馬市)は、総人口約80千人(2015年推計)、面積1406km²、人口密度は57人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測：西部の総人口は2025年に67千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に49千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて17千人へと減少し(2015年比-6%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費：西部の一人当たり医療費(国保)は425千円(偏差値76)、介護給付費は322千円(偏差値68)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度：西部の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.84で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状：総医師数³の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は63と多い。

*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は37と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は67と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状：総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は84で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状：西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1878人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1378床(偏差値62)、高齢者住宅等が500床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1527人(75歳以上1000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設72、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム65、サ高住40である。

*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値81と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、217人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測：2040年の介護充足度指数⁴は+32%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数では過剰である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

西部医療圏の総人口は、2005年96016人が、2015年に80391人と16%減少し、2025年の人口が66663人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

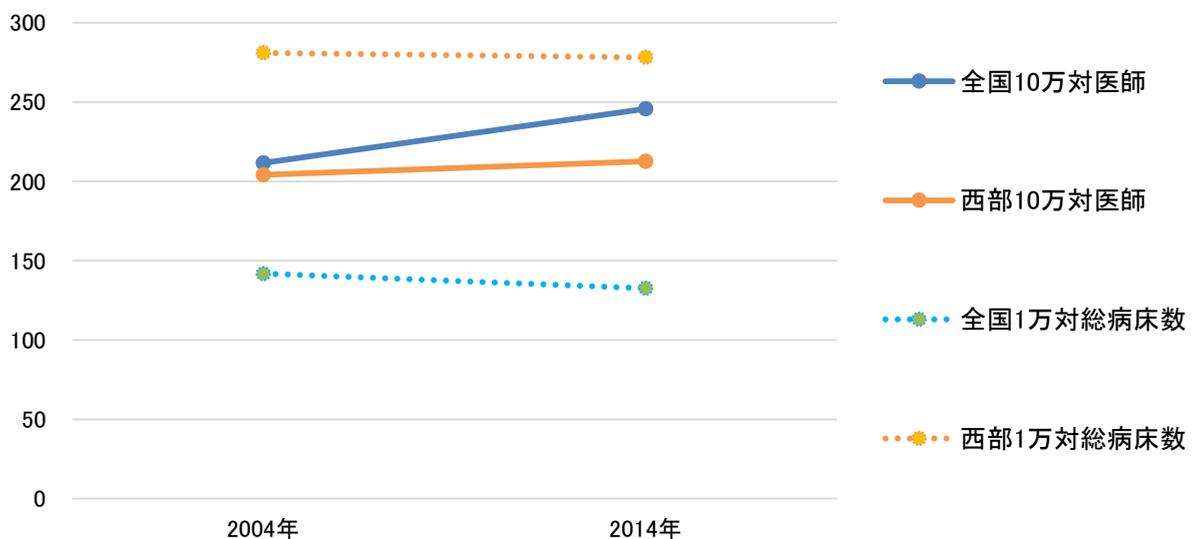
2004年の病院数が21(人口10万人当たり21.9病院(全国平均7.1)偏差値88)であったが、2014年に18(人口10万人当たり22.4病院(全国平均6.7)偏差値88)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2014年に76(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、18診療所が減少した。

2004年の総病床数が2699床(人口1万人当たり281(全国平均142)偏差値75)であったが、2014年に2237床(人口1万人当たり278(全国平均133)偏差値76)と、462床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

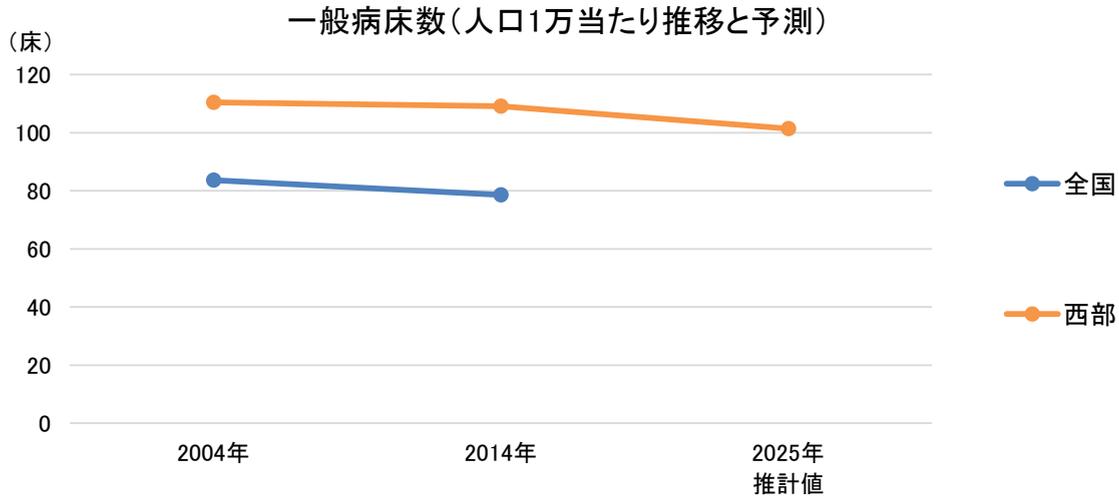
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が196人(人口10万人当たり204人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2014年に171人(人口10万人当たり213人(全国平均246人)偏差値47)と、25人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



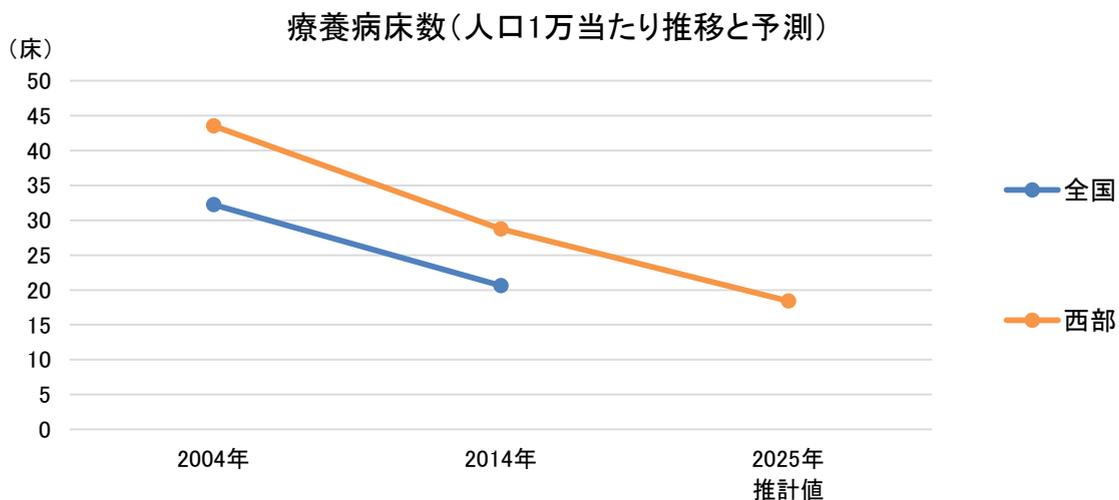
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1060床(人口1万人当たり110(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に877床(人口1万人当たり109(全国平均79)偏差値61)と、183床の減少、率にして17%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には676床(2025年の推計人口1万人当たり101)になることが予想される。



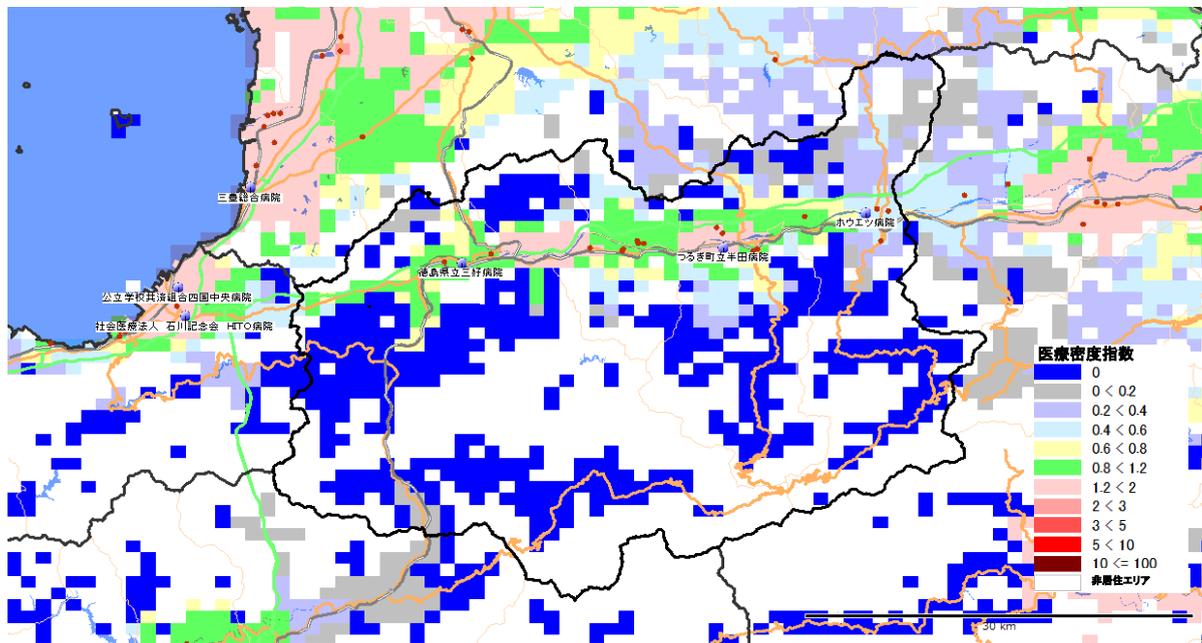
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が722床(75歳以上1000人当たり44(全国平均32)偏差値56)であったが、2014年に530床(75歳以上1000人当たり29(全国平均21)偏差値57)と、192床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には319床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

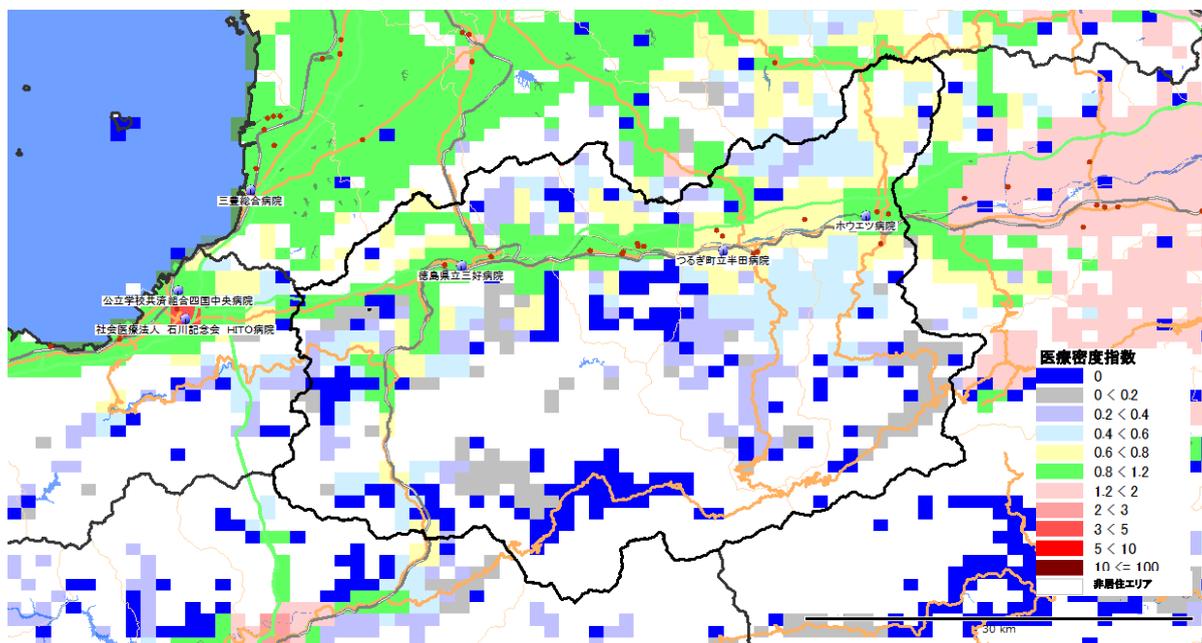


3. 医療密度⁵

図表36-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表36-3-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。